

医療機関の皆様へ

平成22年10月  
(社)日本画像医療システム工業会  
法規・安全部会 安全性委員会  
市販後安全管理専門委員会

## 機器使用中の手指等の挟み込み防止のお願い

平素より工業会活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。  
過日、医療機関において下記の事象が発生しました。

**診断用核医学装置において、検査終了後、スライドしている天板を掴んだ患者の左手小指が寝台固定部と天板の間に挟まれ、指先を損傷した。**

当工業会としては、本件のような事態の再発防止は大変重要なものと捉えておりますので、改めてご使用時の注意をお願いいたします。

ご使用の皆様におかれましては、下記の内容をご一読いただき、機器使用に際して、より一層のご注意を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 記

画像診断装置等において、電動および手動により患者寝台および天板の上下移動・水平移動・回転、ならびにCアームなどの移動・回転の際には、次の事柄についてのご注意をお願いいたします。

1. 機器をご使用中は常に患者の状況を監視してください。(姿勢や機器との位置関係を含む)
2. 機器を動作させる前には患者が安全な位置にいることを確認した上で、操作をお願いいたします。
3. 次に該当する患者の場合は、特に慎重な対応をお願いいたします。
  - ・医療従事者の指示した状態を維持できない患者
  - ・意識のない患者
  - ・身体に障がいのある患者
4. 再度、機器の添付文書および取扱説明書を熟読していただき、ご使用ください。

ご使用中の機器をより安全にご使用いただくために、医療従事者への装置納入時と定期的な安全教育の徹底をお願いいたします。

今後ともご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上